



<ひとこと> 今さらですが、今年目標を立てました。出遅れた方、一緒にスタートしませんか？

第2回 柏市自殺対策連絡会議 日本の自殺者数は世界で第8位

自殺者(自死)の問題は日本の深刻な問題であり、その対策は急がれているところです。「平成二十年版自殺対策白書」によると、日本の自殺者数は世界で第8位、主要8か国中ではロシアに次いで2位、この国でも男女比では男性が多いのですが、女性だけを比較すると主要8か国中第1位となっています。日本の現状として、

1. 日本の自殺率は、異常に高い
2. 日本では経済不況が自殺率に直結している
3. 自殺者の96%は、最後の行為にいたる段階で精神疾患の診断がとれる(WHO)

の3つが挙げられ、それに対する対策として

1. 啓発普及…多くの人に現状を認識してもらう
2. 経済問題への対応…多重債務者等の救済・相談
3. 精神疾患等への相談等の充実
4. 自殺に傾いた人の支援、自死家族への支援

などが挙げられています。

この連絡会議では、何から着手できるかについての話し合いの結果、作業部会が設けられ、千葉県機関や柏市内を中心に、対策に挙げられた2から4に対応する相談窓口をまとめたリーフレット(素案)の作成をしてみました。そしてこの第2回の会議で、案についての意見交換がおこなわれました。その論議を踏まえ、来年度始めには完成を目指しているところです。相談の場所を広く市民へ周知するという目的もありますが、それぞれの機関や団体がどういった役割を果たすのか、共通理解の下にそれぞれがそれぞれ「つながり」とい

いち地域で「つながり」



今回は私の次女、大久保夏樹がたんぼぼセンターのカフェのコーヒーの癒しの威力をアピールさせていたいただきましたが、私は就労継続支援B型事業所『歩論館』のおしゃべりパワーをご紹介します。利用者(スタッフと呼びます)と私たち支援者(多くは利用者の母親)は共に学びあう同士みたいなチームです。午前中は時間に追われながら一生懸命肉体労働? 午後はゆっくり仕事でおしゃべりしながら頭脳労働? このような一日を過ごしながらそれぞれの体験や思いが気軽に披露され、「そういう時はどうして欲しいの?」とか「どうし

まさに「ピア教育」です。

「たらいの?」と、単刀直入な質問ができて、まさにピア教育です。私は「共に育つ」という事が好きなので、現在は、教えたり、教えられたりできるこの仲間が一番身近な相談相手です。

NPO法人ベイ・フワード 寺田多美江



生活があぶない! 多重債務の傾向と対策

講演は一般社団法人生活サポート基金の藤田愛子氏。

生活サポート基金では、平成二十年三月に東京都多重債務者生活再生事業の相談事業を受託されました。債務者の悩みを聞きながら、家計支出の改善提案を行う、生活再生のための提案を行うとともに、面談を通じて、借りられなくなった人に対するセーフティネット貸付も行っています。この事業の貸付上限金額は300万円、東京都内に1年以上住所があり、勤務されている方、保証人は1人以上必要などの条件があります。

後半のパネルディスカッションでは、現在の多重債務の傾向として「貧困の問題」が挙げられました。

あいネットでも生活困窮の方のご相談があります。その中で、貸付のハードルが低く、少額でも迅速に貸してもらえるところがあるといいなあ…と感じています。現在、千葉県でセーフティネット貸付を行っている団体は社会福祉協議会のみですが、県内にも、融資機能を持った相談事業ができることを期待します。

う役割を果たすことが重要であるとの意図で作成されるものです。

by the way

あいネットでもつながり切しは常日頃感じています。機関や団体同士の理解が深まるのは、個別のケースにお互いの機関が関わる時(こと)だなあという思いを最近も強くしました。知っているつもり機関の力が個別のケースを通じ、こういう場合にこういう風に生きるんだ、これは苦手なんだ、と具体的にわかり大変参考になりました。次からはもつともましくお互いが使いこなせようと改めて挨拶を交わしましたが、今までの疑問が解けた瞬間でした。

柏市が年末年始、求職者に宿泊施設

～相談者対象に、無料で～

失業中で「年末年始に住む場所がない」という切実なケースに対応するため、柏市は31日から来月4日までの最大5泊6日、宿泊先を無料提供する独自の「年末・年始緊急避難宿泊施設支援事業」を実施する。市民限定で、就職活動を行っているなど要件があるが、認められた場合は、本人と家族を市内のホテルに宿泊できるようにあつせん。宿泊費は市が全額負担する。同事業は、「雇用促進住宅に入居できない」「宿泊先を確保する資金がない」など特殊事情に対応する救済措置として実施する。29、30日に市役所近くのいきいきプラザで開く「求職者年末・年始特別相談会」に訪れた市民を対象に、一定の要件を満たした場合、ホテルへの宿泊あつせんを行う。

ちばの耳より情報満載・千葉日報ウェブ『ちばとび』2009年12月28日より抜粋

このような記事が年末に各新聞に掲載されたことをご記憶されていますか。

あいネットにも「生活費が…」との相談が、上記相談会が実施される前日にありました。車上生活をされている方からの相談。「事情があり、家を出ています。ガソリン代もなくなり夜寒くて。これからどうしたら、いいのでしょうか」ご事情を伺い、住民票は柏市にあるとのこと。29日に相談会があることをお知らせしました。翌日、どうなったかと心配で連絡をしましたが、伺っていた携帯電話番号は「お客様の都合により」つながらず…。

その後、この方は29日に相談会に参加。順調に手続きが進んでいたようですが、住民票が他市にあることがわかり、年明けにあらためて他市へ相談に行くようになったとのこと。

先日、ある相談者から「今までね。制度のことを聞きに行っても、その機関に関係のないことは…門前払いか、たらいまわし?されていたけど、このパンフレットはいいよ。勉強になるよ」とパンフレットを見せてもらいました。

このパンフレットは、厚生労働省が11月、12月と行ったワンストップ・サービス・デイ(12月はハローワーク松戸でも実施)そこでも配布されたようです。「新しいセーフティネット支援ガイド」というタイトル。厚生労働省・都道府県労働局・ハローワーク・都道府県・市区町村・社会福祉協議会にかかるものが申請窓口ともに記載されています。



小規模作業所

ポコアポコ



今回は『小規模作業所 ポコアポコ』に取材に行きました。
「ポコアポコ」はイタリア語で「少しずつ」という意味。毎日少しずつ成長していけたらという願いが込められているそうです。
取材にご協力いただいたポコアポコの皆様、ありがとうございました！！



ポコアポコは、視覚障がいの方を中心に活動する小規模作業所として、平成 21 年 10 月にオープンしました。

今回の取材では、不定期開催の木工教室にお邪魔させていただくことが出来ました。桜や楓など、さまざまな種類の木材を用いて、靴べら、スプーン、アクセサリーなどを作っているとのこと。手の感覚を研ぎ澄ませて一心に創作・・・されている方もいらっしゃいますが、メンバー同士でおしゃべりを弾ませながら、楽しまれていました。

温かい雰囲気での作業所では、目が不自由な方の生活支援として、点字教室やパソコン教室なども開かれています。読み上げ機能のあるパソコンや、拡大読書機、SPコード作成や読み上げ装置など、設備も充実。

同じ障がいを持った仲間が集い、相談が出来る『居場所』が、また一つ地域に生まれました。

ポコアポコのこれからの活躍を期待しています！



小規模作業所 ポコアポコ

住所： 柏市松葉町 6-8-1

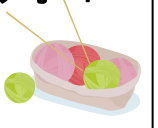
青山第一ビル 2 階

電話： 04-7136-0505

FAX： 04-7136-0505

メール：

pocoapoco-0505@camel.plala.or.jp



ポコアポコ(概要)

活動時間： 月曜日～金曜日 9時～16時

※柏駅、北柏駅へ送迎車が出ています。

対象者： 15歳以上で障がいをお持ちの方。

登録者： 18名(1月現在/男性9名・女性9名)

利用方法： 右記にお問い合わせください。

利用料： 無料(木工教室など、費用がかかるものもあります)昼食は各自。



靴べらを創作中。根気が必要な作業です。

おしらせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット(電話:04-7165-8707FAX:04-7165-8709)まで◇

講演名	日時	場所	費用	申込み	問合せ先他
精神障害者の家族支援事業による上映会 『ふるさとをください』	2/14(日) ①10時～ ②13時～	野田市役所 8階 大会議室	無料	不要	主催：野田市心の健康を守る会 こころネット・ハートゆう
発達障害児・知的障害児の保護者・支援者のための講演会 学童期～就労・親離れまでの支援 講師：千葉発達障害児・者親の会「コスモ」 会長 吉田 礼子氏	2/16(火) 2/21(日) 12:30 ～14:30	2/16(火) 船橋市中央公民館 第3集会室(定員60名) 2/21(日) 船橋市高根台公民館 第4集会室(定員40名)	無料	必要	NPO法人 まんぼう 住所：船橋市高根台 6-31-15 電話：090-2751-8094(大林) メール： manbou@cf7.so-net.ne.jp 参加申込は「参加日・お名前・連絡先」をお知らせください。
第6回 読み聞かせ指導者養成講座 一朗読の仕方と発声の工夫一 講師：健康・朗読の指導主催 増田 泰子さん	2/19(金) 10:00 ～12:00	教育支援三アイの会 会議室	500円 (資料代)	不要	NPO法人 教育支援三アイの会 住所：柏市柏 3-6-14 増谷第一ビル 4階 電話：04-7162-2130 FAX：04-7162-2140 http://www7.plala.or.jp/ms1624
高次脳機能障害の基礎知識と 相談支援のポイント 講師：首都大学東京大学院 教授 渡邊 修氏	2/20(土) 13:30 ～16:00	柏市中央公民館 4階 研修室	無料	必要	柏市身体障害者福祉センター 電話：04-7163-9353 メール： info-shgf@city.kashiwa.lg.jp 対象：高次脳機能障害者を支援する保健、福祉、医療、行政関係等 80名
千葉県発達障害者支援開発事業研修会 上手に遊んで社会性を育てよう！ ～みんなと「楽しい」経験をつむことが、社会性の第一歩～ 講師：筑波大学人間総合科学研究科 准教授 野呂 文行先生	2/27(土) 13:30 ～15:30	けやきプラザ 2階 ふれあいホール	無料	必要 (定員 550名)	千葉県発達障害者支援センター-CAS 電話：043-227-8557 FAX：043-227-8559 メール： cas@mue.biglobe.ne.jp 参加申込は「お名前・所属・連絡先」をお知らせください。
インゲ・ダーレンボルグ氏 認知症研修	3/21(日) 10:00 ～12:30	千葉市民会館 3階 特別会議室 2	無料	必要	社会福祉法人生活クラブ 電話：043-309-5812 FAX：043-481-2177

※「じんけん」ぼん 12月号のお知らせに掲載した『鉄道自慢展』の日時に誤りがありました。正しくは『2/23(火)～2/28(日)』です、申し訳ありませんでした。